

令和4年度 第2回屋久島世界遺産地域科学委員会議論の整理

資料1

課 題	主 な 意 見	関 係 機 関	回 答 等
<p>議事(2)</p> <p>【資料2-1】 令和4年度世界遺産地域モニタリング調査等結果(環境省)</p>	<p>現在の登山者数のモニタリング実施箇所について、いつまでを目途に行う予定か。また、次のモニタリング候補地が確定しているならば、資料に入れたほうがよい。(柴崎委員)</p>	<p>◎環境省</p>	<p>コロナの影響があったため、しばらく現在のモニタリング位置で継続していく予定。次の候補地は、まだモニタリング実施していない場所を候補地として考えており、その点も含めて次回の資料に記載したい。</p>
	<p>大株歩道入口トイレの整備等の進捗状況について知りたい。(土屋委員)</p>	<p>◎鹿児島県</p>	<p>し尿搬出に欠かせないトロッコ軌道の改修や電気設備等の修理、測量設計等を実施し、計画的に整備を進めていきたい。</p>
	<p>【資料2-2】 令和4年度世界遺産地域モニタリング調査等結果(林野庁)</p> <p>気温のモニタリングも含め、将来予測については継続してほしい。今後は他の植物等でも将来予測について解析する予定はあるのか。(八代田委員)</p>	<p>◎林野庁</p>	<p>気温、降水量のモニタリングは継続していくことにしており、他の植物等の将来予測については今後検討したい。</p>
<p>議事(5)</p> <p>【資料5-3】モニタリング項目の評価シート(案)</p>	<p><モニタリング項目13、評価指標22> 餌やり禁止の普及・啓発活動を港や空港等、レンタカー会社でも行う必要があることを追記してほしい。(荒田委員、松田委員)</p>	<p>◎環境省 屋久島町</p>	<p>餌やり禁止の普及・啓発活動については、動画やガイドライン等様々な形を検討をしていく。</p>
	<p><モニタリング項目13利用状況の把握1、評価> 空港拡張があった場合、どうなるのかという指針にもつながるため、観光・レクリエーション利用に関する他の指標についてももう少し踏み込んで方向性を出すべきではないか。(柴崎委員)</p>	<p>◎環境省 鹿児島県 林野庁・レク 森協議会</p>	<p>暫定基準を新たに作り、この10年間を評価するのはおかしいのではないかと考えているので、モニタリング計画の見直しの中で検討していきたい。</p>
	<p><モニタリング項目13利用状況の把握1、評価> 登山者数等のモニタリングは実施していることから、何らかの形で指標の方向を出す必要があるのではないか。20~30年前の振り返りをして新たな基準を設けると良いのではないか。(柴崎委員)</p>		
	<p><モニタリング項目13利用状況の把握2、評価> 暫定的な基準は間違っていれば見直しができる。定性的にある程度増減があるという簡単な記述を入れるべき。(土屋委員)</p>	<p>◎環境省</p>	<p>評価案の整理表は、評価シートとセットで成り立っており、評価シートには定性的な記述を盛りこんでいる。なお、各モニタリング項目について、上位の評価項目ごとに整理・統合した評価シートをR5科学委員会(第1回)で提示する。</p>
<p>議事(6)</p> <p>【資料6-1】屋久島世界遺産地域管理計画改訂作業のフロー</p>	<p>改訂作業に係る検討事項は積み残しとなっているため、改訂作業の期間を延長してはどうか。(土屋委員)</p>	<p>◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町</p>	<p>2月中に委員から一度意見をいただき、令和5年第1回科学委員会まで持ち越しという案も含めて、考えさせていただきたい。</p>
	<p>改訂案については早めにフィードバックしていただいて、書面でやり取りするというプロセスを経た上で、最終的に次回の科学委員会で決着するという形がいいと思う。(矢原委員長)</p>		

課 題	主 な 意 見	関 係 機 関	回 答 等
【資料6-4】屋久島世界遺産地域管理計画改訂案	<p>「屋久島学ソサエティについては、さらなる連携を推進していく」という文言がある。より多様な地域団体との連携を考える観点で、2つの修正案を提案する。</p> <p>①「屋久島学ソサエティ」を明記しない案。</p> <p>②「屋久島学ソサエティ」以外の組織も含めて書く案。</p> <p>さらに、48ページの「図 屋久島世界自然遺産地域の管理体制」に、「屋久島学ソサエティ」が主体として含まれているが、管理側に携わっているとは考えにくく、この文言は図から除くことが妥当と考える。（柴崎委員）</p> <p>屋久島学ソサエティだけを書いて、公平性を欠くというような言い方をされないように、もう少し表現を工夫する必要があると思う。また管理体制図に屋久島学ソサエティがあるのはおかしく、図からの削除をご検討いただく必要があると思う。（矢原委員長）</p> <p>生物多様性に配慮した森林施業については、魚類、加えて言えば淡水魚も追加してほしい。皆伐から間伐方式に変更する方向で、なるべく河川への土砂流出を抑える施業にする等の文言を加えてほしい。（荒田委員）</p> <p>音の影響だけでなく何らかの影響が出るかと思われるので、全く文言を入れないのではなく、「検討する」だけでも入れてほしい。（柴崎委員）</p>	<p>◎環境省</p> <p>◎林野庁</p> <p>◎環境省</p>	<p>ご意見を踏まえて、検討する。（詳細は、資料7-2を参照）</p> <p>ご意見のとおり修正させていただきます。</p>
議事（7）	【資料7】屋久島世界遺産地域における高層湿原保全対策検討会の検討状況	◎林野庁 環境省	ご意見のとおり修正させていただきます。
議事（8）	<p>【資料8】西部地域の持続的活用に向けたワーキンググループについて</p> <p>ワーキンググループは重みのあるものとなるため、検討会等にしてはどうか。（土屋委員）</p> <p>西部地域に特化してワーキンググループを立ち上げるというのは少しバランスを欠いている印象を受ける。（柴崎委員）</p> <p>他にも議論すべき重要なテーマがあり、ワーキンググループを立ち上げる際には科学委員会で諮った方が良いのではないかと。（柴崎委員）</p> <p>ワーキンググループではどれぐらいの期間検討することを想定しているのか。また一定の目的が果たされれば、設置が終わるのか。（八代田委員）</p>	<p>◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町</p> <p>◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町</p> <p>◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町</p>	<p>ワークショップに近いような形で議論しながら成果を上げていくということで、ワーキンググループとしている。</p> <p>科学委員会は科学的な助言をいただく場であり、検討を行うことに対して承認を得る場ではないと考えている。</p> <p>1年位集中的に議論してとりまとめ、終わったら解散ということイメージしている。</p>
議事（9）	【資料9】縄文杉周辺の低木の取扱いに関する考え方（案）	◎環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	ご意見を参考にさせていただき、適切な剪定方法、時期を検討し実行することとしたい。

※委員会での回答は黒字、委員会後の追記は青字で記載